

学内交流イベントと学習支援

Joy Free

塩浦康平・佐藤真海子・茂木一弥・坂本雄一・小泉達也・平沢大樹

1. プロジェクトを始めたきっかけ

新潟大学は9つもの学部があり、しかもそのうち7つが1つのキャンパスに集まっている総合大学だ。全国の大学と比べても、新潟大学の長所として胸を張れることだろう。

しかし、その長所がなかなかうまく活用されていないと私たちは感じる。同じ学部やサークル、バイトの人との交流はあるが、それ以外の人との交流がほとんどない。これでは、せっかく多くの学生がいるのに、限られた人とだけ、それも同じような趣味や考えを持った人とばかりの交流になってしまう。また、県外から来た学生は特に、入学してしばらく友達が出来ずに、学校に来ることが嫌になってしまう学生も多い、という問題もある。

このような問題が起きた原因を私たちは、学内の交流のきっかけとなる場面が少ないことだと予測した。そこで、イベントによって交流のきっかけを作れば、学内の交流がもっと活性化するのではないかと考えた。私たちは「学内イベントを企画することで、学部やサークルを越えた交流の機会を作る」ということを目的に活動をしている。

交流が増えることの利点は、大きく3つあると思っている。1つは、友達が増えることで学校に来ることが楽しくなり、結果的に学習意欲の向上につながるということ。2つ目は、自分と違った視点を持つ人との交流を通して、自分の考え方の幅を広げることができるということ。3つ目は、高校の時よりも増えた「自由な時間」を、どう有意義に使うか考えて実行する仲間を作ることで、大学生活をより有意義にすることができるということだ。以上の3つはすべて学習につながる。よって私たちは、イベントによって交流を増やすことは学習支援にもつながると考える。

※ここでの「学習」とは、授業で知識を身につけることだけではなく、コミュニケーション能力や思考力などの実践力や、様々な経験を積むことで社会勉強をすることなども含めて「学習」と捉える。

2. 私たちの活動の紹介

学部やサークルを越えた交流を作るために、平成21

年12月23日にクリスマスドッジボール大会を開催した。120人もの学生が参加し、大会は参加者のやる気でも盛り上がった。大会後に行ったアンケートでは96%の学生から「またやってほしい」という回答をいただいた。この数字は、学生がこのようなイベントを待っていたからではないかと考えられる。

また、大会を通じて新しい友達が出来たという声をいただき、交流のきっかけとしてもドッジボール大会が有効であることが分かった。そこで、4月25日にも300人規模のドッジボール大会を開催しようと考えている。(発表時：現在は既に大会は終了した。)

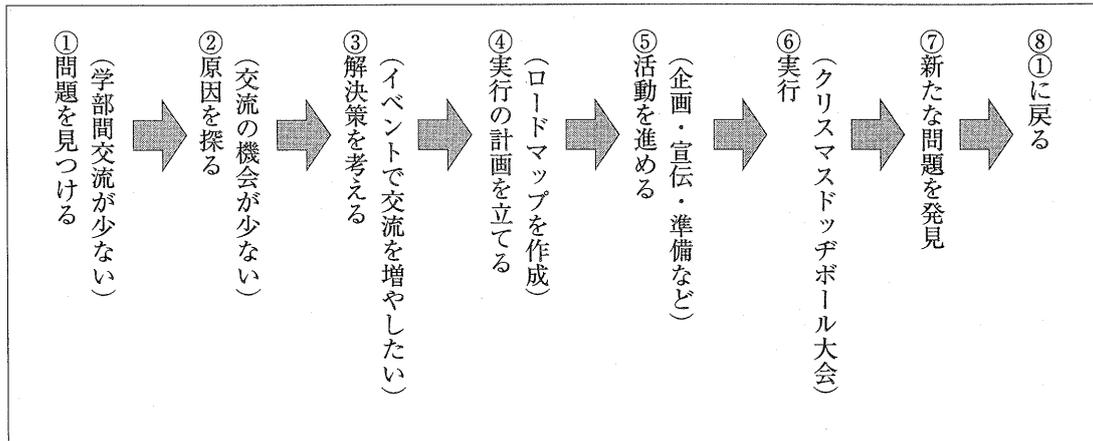
3. 私たちが学んだこと

イベント企画を通して交流を増やすことを目的に活動していましたが、同時に私たちも多くのことを学ぶことができました。組織の仕組みなど、他の授業で学んだことを身を持って実感したり、問題解決のプロセスを考え実行する力の育成の機会になったり、「計画・実行・反省」の繰り返しが大切だということも実感しました。

たとえば問題解決のプロセスは、下図のように、自分自身の体験と合わせて実感した。だからこそ、今度は「売り上げを上げたい」など他の問題にも活用できる力となる。このように、自分たちで実感する学習は、学校の授業だけではなかなかできない貴重な体験だ。

上で述べたことは学生が自主的に活動したからこそ実感できた・学べたことだ。このように学生が自主的に活動できる場面をもっと増やすことは、学生にとって大きな学習の機会となる。しかし、実際には学生が自主的に活動しづらい状況がある。やりたいことがあっても何から手を付けていいかわからないという学生や、協力者を募ったり組織を動かすコツを知らなかったりして困る学生は大勢いる。そのような学生でも自主的に活動できるように、「活動を見守ってくれながら困ったときにアドバイスをくれる」という支援を受けられる環境があるとよいと思う。

私たちが活動できていることは周りの多くの方のおかげであることに感謝しながら活動をし、いつか今度は私たちが後輩の活動を支援していけるようになりたい。



学内交流イベントと
学習支援

～Joy Free～ 塩浦康平 平沢大樹 小泉達也
茂木一弥 佐藤真海子 坂本雄一
2010.3.19

1

本日の内容

- 1 Joy Freeとは？
- 2 プロジェクトを始めた動機
- 3 私たちの活動の紹介
- 4 私たち自身が学んだこと

2

1. JOY FREEとは？

- ・ 学生企画プロジェクトベース(H21年度後
期木曜5限)の授業内で結成
- ・ 交流をテーマとしたイベントを企画したいと
考えているメンバーが集まり、活動を開始
- ・ 教育5人、経済1人の計6人で構成
(1年生一人、2年生四人、4年生一人)

3

2. プロジェクトを
始めた動機

4

交流イベントが必要だと考えた背景

↓

大学における学生の交流が少ない

↓

特に内気な人や、人と関わるのが苦手な人は困っている・・・




5

実体験をもとに

部活に入っている、思うような友人関係を築けない学生もいる

↓

サークル・部活動は、決まった活動をするを目的に集まっているため、新しいことに挑戦するための友人は作れないのでは？

↓

学部やサークルの垣根を越えた様々な人との交流の機会を作りたい！



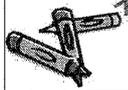

6

交流が増えることの利点

- ・学部を超えた交流ができる
- ・自分と違う視点を持った人と出会うことができる
- ・友人が増えてより大学に来たいと思えるようになる

↓

イベントで交流の場を提供したい！

7

交流イベントによる学習支援

高校よりも増える「自由な時間」をどう有意義に使うかを一緒に考えられる友人を作ることができる

↓

様々な経験をすることで、より充実した大学生活を送ることが出来る

↓

学習支援につながる




8

3. 私たちの活動の紹介




9

前回大会の概要

X'mas ドッチボール大会
～冬だ！球技だ！もっと熱くなれよ！～

開催日：12月23日(祝)
場所：第2体育館Bフロア・第3体育館
時間：午後1:30～4:30
参加費：100円
参加チーム数：11チーム
参加者総人数：120人




10

前回の大会を終えて

- ①スポーツイベント・120人の参加者によって、参加者の士気が上がった。
→96%の参加者から『またやって欲しい』との要望があった。
- ②ハーフチームを組み合わせた。
→初めて出会う人たちの交流の場として有効であった。
- ③このようなイベントを継続的に行う必要がある。
→【出合いの機会の増加】
【コミュニケーション能力向上】など




11

次回イベントについて

新入生歓迎ドッチボール大会
～新入生の交流の機会を作り、よりよい大学生活の1歩を踏み出せるように～

開催日：4月25日(日) 10:00～19:30
場所：新潟大学第二・第三体育館
集客予定数：新入生200人、在学生100人

当日の流れ

午前
新入生のみでの交流会

⇒

昼
昼食会

⇒

午後
在学生を交えてのドッチボール大会




12

